



メイティハーネス ジュニア



メイティハーネス ジュニア

## Matey Harness Junior



### 株式会社 シーエー産商

〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大学青山字東栄51

[www.ca-sansho.co.jp](http://www.ca-sansho.co.jp)

お客様相談窓口

●本製品に関するお問い合わせ(月曜日～金曜日 ※弊社休日は除く)

**0120-034-017**

受付時間／AM10:00～12:00・PM1:00～5:00

RM3001-2022-07

# Matey Harness Junior

## 取扱説明書/保証書

ご使用になる前に、必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しくご使用ください。



R129/03



「各部の使い方」「取り付け方」「お手入れのしかた」は、動画でも紹介しています。



本装置は、月齢15ヵ月以上かつ身長76～150cm  
までのお子様用です。

※本書に使用しているイラストは、取り付け方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

本革シートの車両は、シートを傷めるおそれがあるため、そのまま取り付けないでください。取り付ける場合は、必ず保護マット(別売)等を敷いてから取り付けてください。

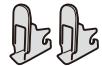
## 目次

目次・梱包内容	1
■ご使用になる前に	
本装置について／ご利用にあたって	2
各部の名称	3
本装置の使い方	5
取り付けできる座席（ISOFIX取り付けの場合）	7
取り付けできない座席	8
使用できるシートベルト（ジュニアシートモード使用時）	9
使用できないシートベルト（ジュニアシートモード使用時）	10
安全にご利用いただくために	11
■各部の使い方	
パックル・タング	15
リクライニング／インナーカクション	16
肩ベルト	17
ヘッドサポート	18
ISOFIXコネクタ	19
■チャイルドシートモード	
取り付ける前に（ISOFIXコネクタ／トップテザー）	20
ISOFIXコネクタの取り付け／取り外し	21
トップテザーの取り付け／取り外し	23
お子様を乗せる前に	24
お子様の乗せ方／降ろし方	25
■ジュニアシートモード	
取り付ける前に	27
本装置を車両に取り付ける	29
お子様の乗せ方／降ろし方	29
■お手入れのしかた	
クッション、パッド、カバーの取り外し	30
クッション、パッド、カバーの取り付け	31
カバー・パッド・クッション／本体・ベルト等	32
■困ったときには	33
■保証規定／保証書	34

### 【梱包内容】

ご使用の前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

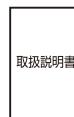
※へらは、お手入れの際にカバーを本体に取り付けるときに、ご利用ください。



ISOFIXガイドキャップ  
(2個)



へら



本書



本装置

## ご使用になる前に

### 本装置について

本装置は、安全基準（UN ECE R129/O3）<sup>※1</sup>に適合しており、身長が76～150cmまでのお子様を対象とした、R129（i-Size）改良型年少者用補助乗車装置です。

※1)UN ECE R129は、従来の安全基準「UN ECE R44/04」適合のチャイルドシートと比べ、より安全性を高めるために推進された新しい安全基準です。

●新基準UN ECE R129の詳細については、弊社HP（QRコード）をご覧ください。



本装置は、身長が76～105cm（生後15ヶ月～4歳頃）まではチャイルドシートモードとして、身長が100～150cm（3～11歳頃）まではジュニアシートモードとしてご利用いただけます。

ISOFIX取付金具とトップテザーアンカー<sup>※2</sup>が装備されていれば、本装置は装着できますが、装備されていても車種によっては適合しない場合がありますので、必ず車両の『車種別適合表』・『取扱説明書』をご確認ください。

※2)トップテザーは、ジュニアシートモードでは使用しません。

●自動車の『取扱説明書』において「i-Size」に対応すると表記されていない場合でも、取り付け可能な場合がありますので、『車種適合表』を参照してください。

### 〈中古品のご使用について〉

前の使用者の使用履歴や使用状況が不明な場合は、ご利用をお控えください。特にベルトや部品にキズやひび割れ等の損傷がある場合は、事故等により強い衝撃を受けたおそれがありますので決して使用しないでください。

ご不明な点は、お買い求めになった販売店または弊社「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

### ご利用にあたって

#### ●本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。



#### 警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。



#### 注意

安全のため、ご注意していただきたいことを記載しています。

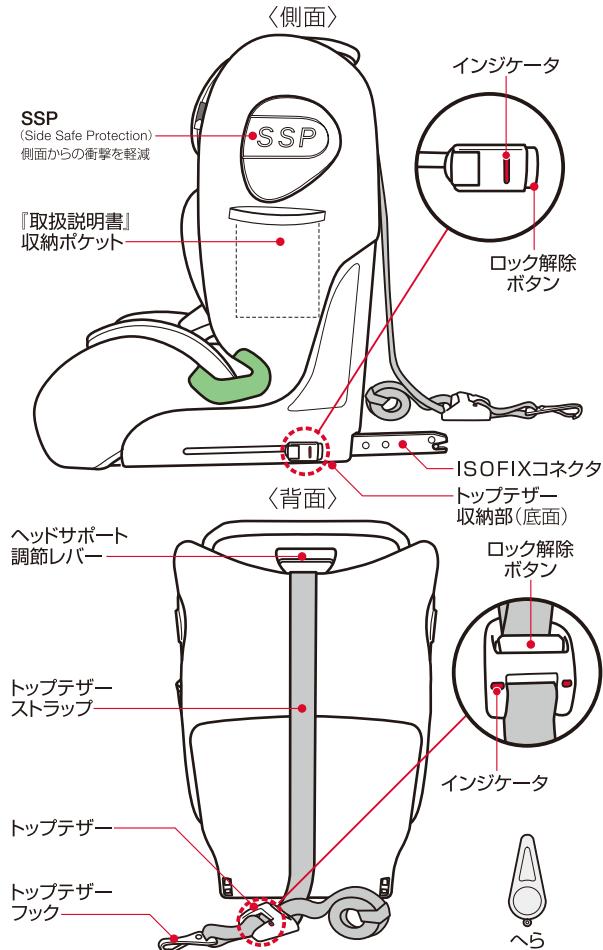
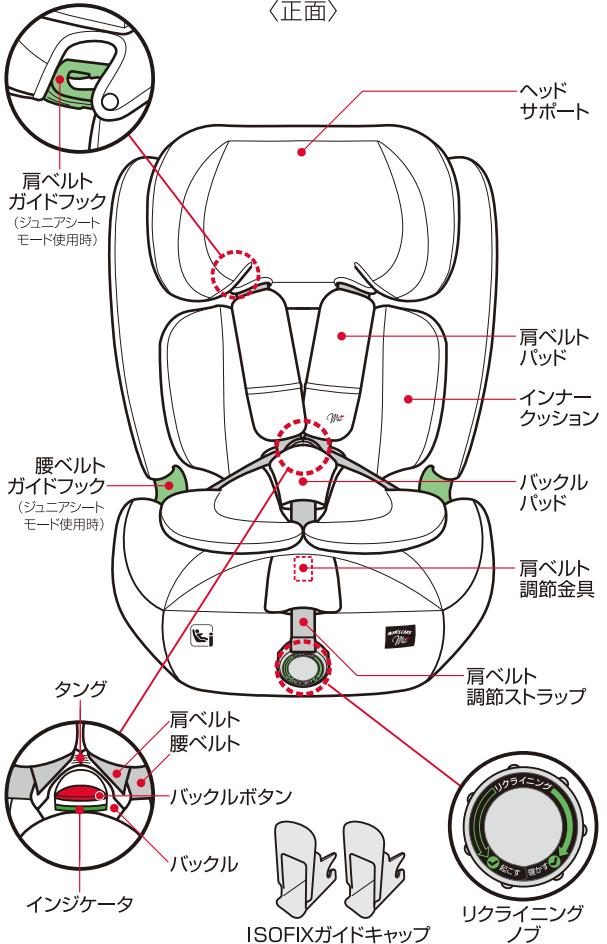


#### 補足

より安全・快適にご利用していただく上で、知つておいていただきたいことを記載しています。

図に表示している行為の禁止を示しています。

# 各部の名称



# 本装置の使い方

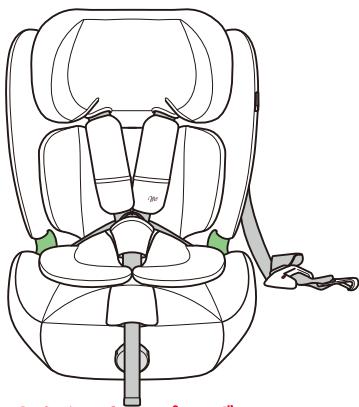
お子様の身長に合わせて2通りの使い方があります

※体重は目安です。お子様の身長に合わせてご使用ください。

## チャイルドシートモード

月齢15ヶ月以上かつ身長76cm~105cm

- 適応年齢… 15ヶ月~4歳頃
- 体重の目安… 約9~18kg



**ISOFIXコネクタとトップテザー**で取り付け、  
本装置の**肩・腰ベルト、バックル**でお子様を拘束  
します。

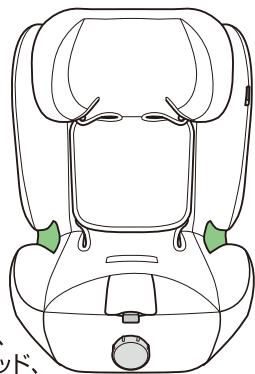


上記の条件を満たさないお子様には、  
絶対使用しないでください。

## ジュニアシートモード

身長100cm~150cm

- 適応年齢… 3歳頃~11歳頃
- 体重の目安… 約15~36kg



肩・腰ベルト、  
バックル、パッド、  
インナーカッシュション等を取り外して使用します。

**ISOFIXコネクタ**で取り付け、  
車両の**3点式シートベルト**でお子様を拘束します。  
ISOFIX取付金具の付いていない座席には、3点式シートベルト  
のみでも使用できます。ただし助手席には使用しないでください。



上記の条件を満たさないお子様には、  
絶対使用しないでください。

## 取り付けできる座席(ISOFIX取り付けの場合)

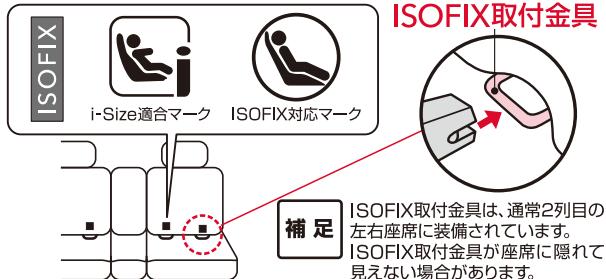
### i-Size(アイサイズ)適合/ISOFIX取付金具・テザーアンカーラベル装備

ISOFIX取付金具とテザーアンカーが装備されていて、車両の『取扱説明書』にi-Size適合、ISOFIX対応の表記や下記のマークがある座席。

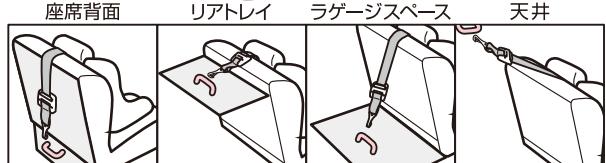
※ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができますが、ISOFIX取付金具を装備したすべての座席に取り付けられるものではありません。ご不明な場合は車両の『取扱説明書』をご確認いただくか、車両をご購入された販売店にお問い合わせください。

本装置のISOFIXサイズクラスは右記になります。車両の『取扱説明書』または車両をご購入された販売店で対応状況をご確認ください。

	チャイルドシートモード	ジュニアシートモード
サイズ等級	B1	
固定具	ISO/F2X	ISO/B2

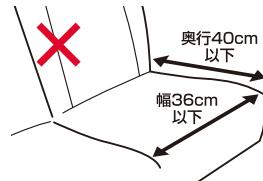


本装置の上部をテザーアンカーに固定して、衝突時の安全性を高めます。  
※ジュニアシートモードでは、トップテザーは使用しません。



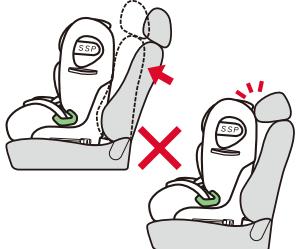
## 取り付けできない座席

● 座面の幅が36cm以下、座面の奥行が40cm以下の座席。



● 座席と本装置の背もたれとの間に大きな隙間ができる座席、または車両のヘッドレストと本装置が干渉して、固定が不安定になる座席。

※ 座席の背もたれを起こしたり、ヘッドレストを上下に調節したり外すことでも取り付けることができる場合があります。



● エアバッグが装備されている座席。

※ サイドエアバッグや、カーテンエアバッグのみの座席にはご使用いただけます。



● 助手席には取り付けないでください。

● 進行方向に対して横向きや後ろ向きの座席。



● 運転操作や、視界の妨げになる座席。

● 本装置が車両のドアトリム等に干渉して、ドアを閉めることができない座席。

● ピラーなどに接触して正しく取り付けできない座席。

● 緊急時に同乗者が脱出する際、妨げになる座席。

● 本革シートの座席。

※ シートを傷めるおそれがあるため、そのまま本装置を取り付けないでください。取り付ける場合は、必ず保護マット(別売)等を敷いてからお取り付けください。

○ 取り付け可能    ✗ 取り付け不可

△ ジュニアシートモードのみ  
取り付け可能

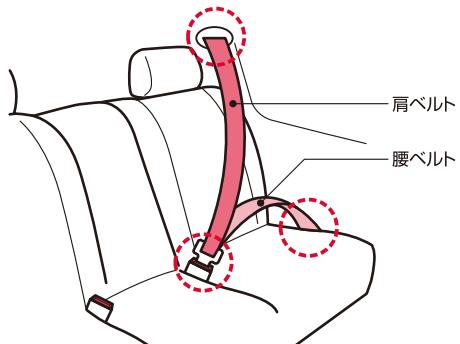
※ ISOFIX取付金具が、装備された座席の場合は○。

※弊社では3人掛け中央座席の適合確認はおこなっていません。

# 使用できるシートベルト<sup>（ジュニアシートモード使用時）</sup>

## 3点式シートベルト

必ず3点式シートベルトをご使用ください。  
(腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト)



### 3点式シートベルトの種類

ELR緊急ロック式 （巻き取り機能付）	ゆっくり引き出すと自由に伸び縮みし、勢いよく引くとロックするシートベルト。
ALR/ELR （チャイルドシート固定機能付）	すべて引き出した後で自動的に巻き戻り、それ以上伸びなくなる。すべて巻き取るとロックが解除されるシートベルト。
その他	上記にあてはまらないシートベルトは、ジュニアシートモードでご使用いただけません。

\*ご使用になる前に、車両の『取扱説明書』をご確認ください。

# 使用できないシートベルト<sup>（ジュニアシートモード使用時）</sup>

- シートベルトが装備されていない。
- 2点式シートベルト。  
(腰ベルトの左右2点で身体を支えるシートベルト)



- 肩ベルトの出口が座席より前にある。(背もたれを起こしたり、座席を前にスライドさせることで使用できる場合があります)



- 車両のバックル、シートベルトが背もたれよりも約10cm以上前に出している。



- 自動式ショルダーベルト（パッシブシートベルト）※が、装備されている。

※ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト。



- 腰ベルトまたは肩ベルトがドアに取り付けられている。



- 受け側のバックルレベルの長さが約15cm以上ある場合、車両のバックルやタングが本装置とあたり、しっかりと締め付けができるない。



# 安全にご使用いただくために

## ▲警告

記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

**身長が76cm未満および月齢が15ヵ月未満のお子様はご使用いただけません。**

**※本装置は安全上、後部座席に取り付けてご使用ください。**

- 本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。

- 車両座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。

- 本装置のベルトが緩んだ状態で、使用しないでください。ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。

- お子様を本装置に乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせ、適切な位置で拘束されるようにしてください。

- 走行中にお子様の乗せ降ろし(乗り降り)や、本装置の調節等は絶対にしないでください。

- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)

- 衝突等により本装置が強い衝撃を受けた場合、破損のおそれがありますので使用しないでください。

- 車両のシートベルトや本装置のベルトを傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。



- バックルボタンの強さは安全規格で決まっていますので、お子様の力でもタングが外れる場合があります。バックルにタングが確実にロックされているか確認をしていただき、お子様にバックルボタンを押さないよう教えてあげてください。



- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。

※ サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの場合は、使用できます。



- お子様を乗せたまま、車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。



- ISOFIX・トップテザーがロックされていない状態で、使用しないでください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が動いて不慮の事故につながるおそれがあります。

- お子様の負担を考え、1時間以上連続して使用しないでください。

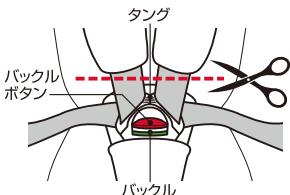
- 本装置を取り付けた後に、車両の座席の移動や背もたれを前後に倒したり、動かさないでください。

- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になる場合があります。



- 緊急時に脱出の妨げになる座席には取り付けないでください。(例:片側スライドドアのドア側座席など)

- 緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押してもタングがバックルから解除できない場合は、本装置ベルトをはさみ等で切って、お子様を降ろしてください。



# 安全にご使用いただくために

## ▲注意

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

●本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。

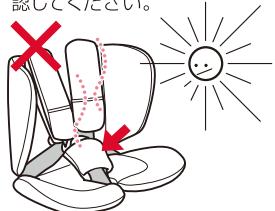
●走行や運転操作の支障になる座席には取り付けないでください。

●お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がりに中腰にさせないようにしてください。

●本装置に重いものを載せないでください。

●パッド類など本装置の部品が破損した状態で使用しないでください。

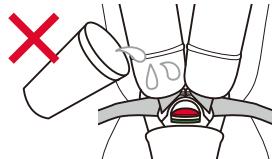
●本装置に日光が当たりますと、熱くなつてお子様がやけどをするおそれがありますので、人が金属部分・樹脂部等に触れて、熱くなつていいかを確認してください。



●本装置を取り付ける際に、車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。

●本装置のベルトがねじれたり、緩んだ状態で使用しないでください。

●本装置のパックルや可動部分に、水やジュース等をこぼさないでください。ゴミや食べかす等が入らないように注意してください。万一入った場合は、お客様相談窓口へご相談ください。



●車両内に、傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあり危険です。

●本装置を取り付ける座席には、マット類など何も置かないでください(本革シートなどのシートを保護するためのマットは除く)。衝突した際、本装置の性能が十分発揮されない場合があります。

●本装置をホコリが溜まりやすい場所に放置して使用すると、ISO FIXコネクタ等の可動部分が詰まり、故障の原因になる場合があります。

●本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ずISOFIXコネクタやシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。



●極端な厚着や防寒具の上から本装置のベルトを装着すると、ベルトが緩むおそれがあります。お子様にベルトを装着した上から寒さ対策をしてください。



●本体カバーやパッド・クッション類のお手入れに、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

●改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。



●お子様に本装置の取り付けや、操作をさせないでください。

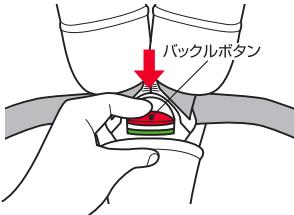
# 各部の使い方



## バックル・タング

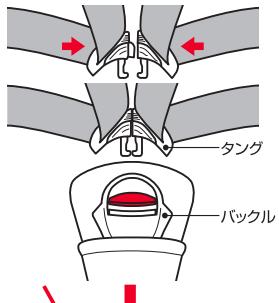
### ●ロック解除の場合

バックルボタン(赤いボタン)を下に押すと、タングはバックルから解除されます。



### ●ロックする場合

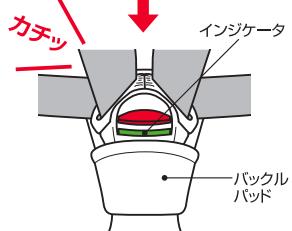
バックルパッドを引き下げ、左右のタングを合わせます。



タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。

※緑色インジケーターが表示されます。

バックルパッドを引き上げます。



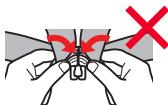
バックルとタングをセットした際は、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



バックル(タング差し込み口)に飲み物や食べかす等が入らないように注意してください。

バックルに片方のタングのみを差し込まないでください。タングが抜けなくなる場合があります。

左右のタングを合わせた部分に、強い曲げ力を加えないでください。破損するおそれがあります。



## リクライニング

リクライニングノブで、リクライニング角度を調節することができます。

リクライニングノブを時計回りに回転させると、リクライニング角度が大きくなります。

反対方向に回転させるとリクライニング角度は小さくなります。

※リクライニングの角度調節幅は約10°です。



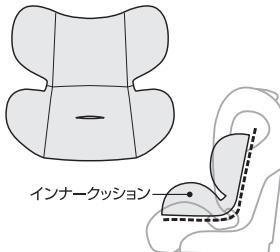
リクライニングの調節をした場合は、トップテザーの再調節をしてください。  
走行中にリクライニング操作はしないでください。

## インナーカッシュン

インナーカッシュンは、リバーシブルタイプになっています。

身長100cm未満のお子様は、インナーカッシュンを取り付けて使用してください。

身長100cm以上を目安にインナーカッシュンを取り外してください。



表：肌触りのいいニット

裏：通気性に優れたメッシュ

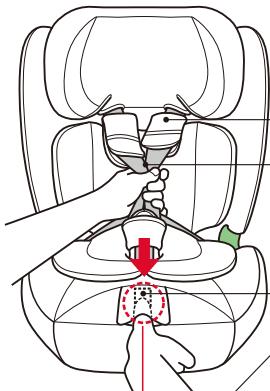
# 各部の使い方

## 肩ベルト

### 肩ベルトを緩める

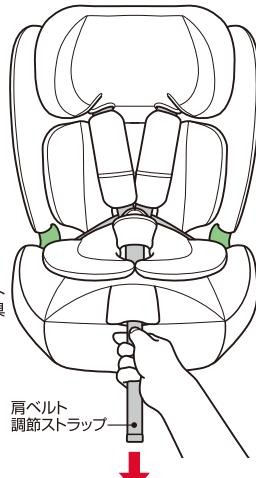
肩ベルト調節金具をしっかり押ししながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って手前に引っ張ります。

\*肩ベルトパッドを持って引っ張っても、肩ベルトは緩みません。



### 肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを、手前にゆっくり引っ張ります。



左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。



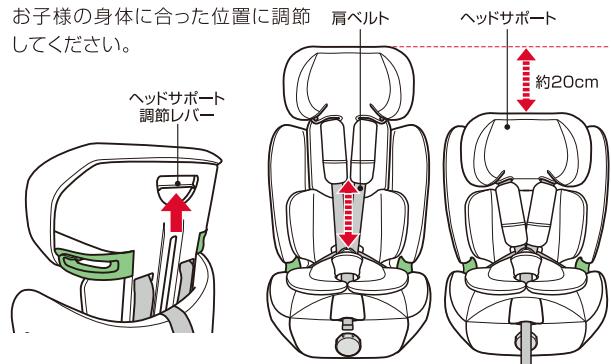
肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

## ヘッドサポート

### ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の調節

ヘッドサポート調節レバーを持ち上げて、ヘッドサポート・肩ベルトを同時に上下させることができます。(12段階)

お子様の身体に合った位置に調節してください。



## 高さ調節の目安

肩ベルトの出口がお子様の肩の高さと同じか、やや高い位置になるように高さを調節してください。



低すぎる



適正



高すぎる



# 各部の使い方

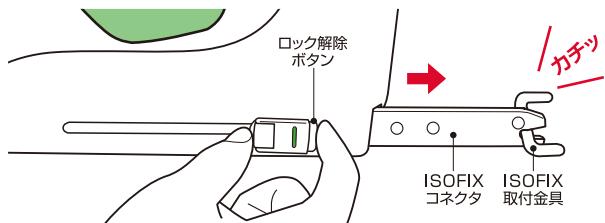
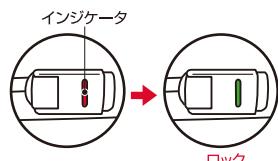
## ISOFIXコネクタ

### ロックする

ISOFIXのロック解除ボタンを押ししながら、左右のISOFIXコネクタを後側に押し出してください。

ISOFIXコネクタの先端をISOFIX取付金具に合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

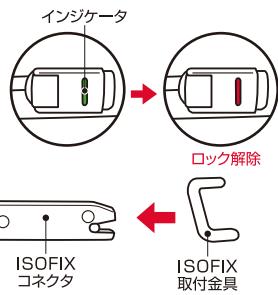
※インジケーターは赤色から緑色に変わります。



### ロックを解除する

ISOFIXのロック解除ボタンを押すと、ロックは解除されます。

※インジケーターは緑色から赤色に変わります。



### 補足

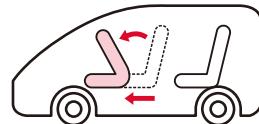
ロックを解除する際は、ロック解除ボタンを左右同時に押してください。

## チャイルドシートモード

### 取り付ける前に〈ISOFIXコネクタ/トップテサー〉 作業スペースの確保



後部ドアが全開可能な平坦な場所で取り付けをしてください。

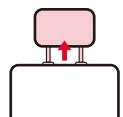
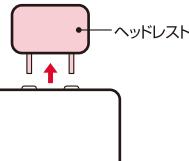


前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。

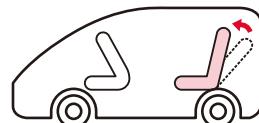
## 座席の準備

ヘッドレストが取り外せる場合は、取り外してください。

ヘッドレストが取り外せない場合は、一番上まで上げてください。



ヘッドレストと本装置が干渉している状態は、固定が不安定になります。衝突等の際に、性能を十分に発揮できない場合があります。



後部座席の背もたれがリクライニングできる場合は、本装置と背もたれとの隙間ができるだけ少なくなるように、調節してください。

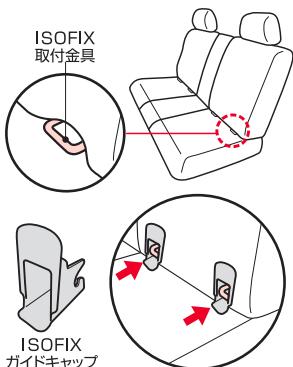
# チャイルドシートモード



## ISOFIXコネクタの取り付け

1

車両の座席の背もたれの下部分を少し押し上げて、ISOFIX取付金具の位置を確認してください。

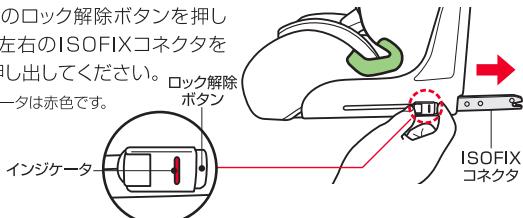


ISOFIX取付金具が座席に隠れて見にくい場合は、付属のISOFIXガイドキャップを使用すると取り付けやすくなります。その際、上下の向きに注意して取り付けてください。

\*ISOFIXガイドキャップは、車両によって取り付けできない場合があります。

2

ISOFIXのロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタを後側に押し出してください。



3

車両の座席に本装置を置き、トップテザーを本装置の座面に置くか、座席の背もたれ背面に通しておいてください。



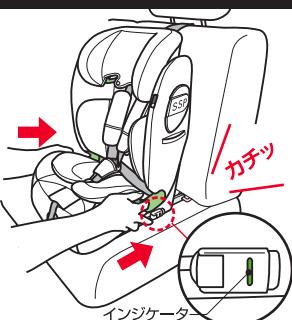
### 補足

ISOFIX取付金具は、通常2列目の左右座席に装備されています。ISOFIX取付金具が座席に隠れて見えない場合があります。

4

ISOFIX取付金具に左右のISOFIXコネクタの先端を合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

\*左右のインジケータが、赤色から緑色に変わったことを確認してください。



5

さらに、本装置と車両の座席の背もたれとの間に隙間がなくなるまでゆっくり押し込んでください。

本装置が確実にロックされているか、前後に軽く揺って確認してください。

### 補足

座席の形状により、ISOFIX取付金具にISOFIXコネクタが届かない場合は、座席の背もたれを倒して取り付け、取り付けた後に背もたれを起こしてください。

## ISOFIXコネクタの取り外し

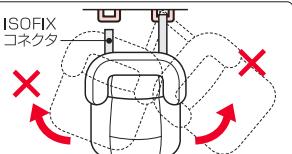
ISOFIXのロック解除ボタンを押し、左右のISOFIXコネクタを同時に引き抜いてください。

\*左右のインジケータが、緑色から赤色に変わったことを確認してください。 インジケーター



### 注意

取り付け・取り外しの際、ISOFIXコネクタが片側のみ接続された状態で本体をひねったり左右に揺すると、ISOFIXコネクタが破損しますので絶対におやめください。



### 注意

左右のISOFIXコネクタをISOFIX取付金具に確実に差し込み、固定してください。固定されていないと重大な事故・傷害を受けるおそれがあります。

### 補足

強く押し込み過ぎますと、ロック解除が困難になりますので注意してください。

# チャイルドシートモード

## トップテザーの取り付け

1

トップテザーストラップ調節ボタンを押しながら、後ろ側のトップテザーストラップを引き出して緩めます。

※インジケーターは赤色です。

2

トップテザーフックを、テザーアンカーに取り付けます。

### 補足

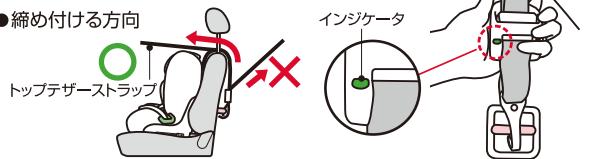
車両により設置位置が異なります。車両の『取扱説明書』を参照してください。

3

手前のトップテザーストラップを引っ張り、インジケーターが緑色に変わるまで締め付けます。

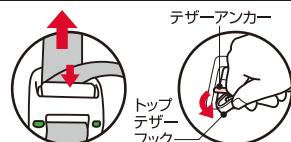
※インジケーターは緑色です。(締め付けが適正)

### ●締め付ける方向



## トップテザーの取り外し

トップテザーストラップ調節ボタンを押しながら、後ろ側のトップテザーストラップを引き出して緩め、テザーアンカーからトップテザーフックを取り外します。



## お子様を乗せる前に

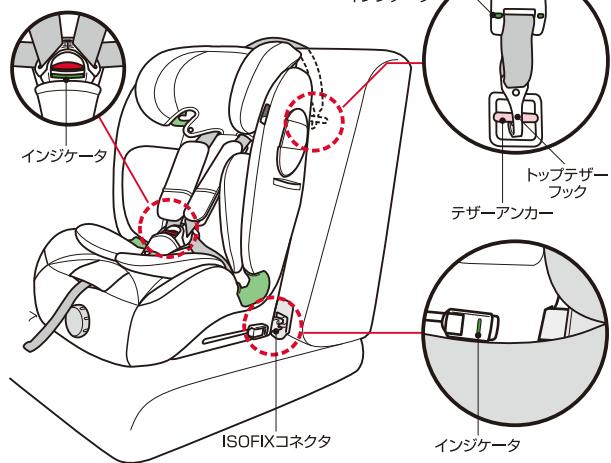
車両に確実に取り付けられているか、必ず確認をしてください。

●パックルにタングを差し込んだ際、肩・腰ベルトにねじれがない。また、インジケーターが緑色の表示をする。

●パックル(タングの差込口)に飲み物や食べかす等が入っていない。

●トップテザーストラップ調節ボタンを押しながら、後ろ側のトップテザーストラップを引き出して緩め、テザーアンカーからトップテザーフックを取り外します。

※インジケーターが緑色の表示になっている。



●本装置を前後に軽く揺すってみて、ぐらつきがなく安定している。(約3cm以下が目安)

※左右のぐらつきは問題ありません。

●車両の座席と本装置との間に、大きな隙間がない。

●左右のISOFIXコネクタが、同じ長さになっている。

●ISOFIXコネクタが、ISOFIX取付金具に確実に固定されている。

※インジケーターが緑色の表示になっている。

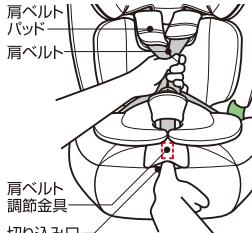
# チャイルドシートモード

## お子様の乗せ方

1

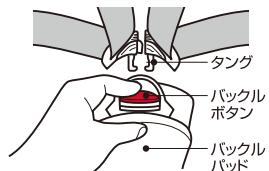
切り込み口から指を入れ、肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って、手前に引っ張り、肩ベルトを緩めます。

※肩ベルトパッドを引っ張っても、肩ベルトは緩みません。



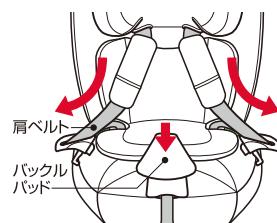
2

バックルボタン(赤いボタン)を下に押すと、タングはバックルから解除されます。



3

肩ベルトを左右に開き、バックル・バックルパッドを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。

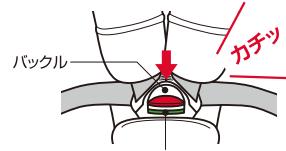


4

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせます。

バックルパッドを引き下げ、左右のタングを合わせます。「カチッ」と音がするまでバックルに差し込み、バックルパッドを引き上げます。

※インジケーターが緑色の表示になっていることを確認してください。



**注意** 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

5

肩ベルトの高さを確認して、位置が合っていない場合は、高さの調節をしてください。(P18参照)



6

腰ベルトに緩みやねじれがないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って、肩ベルトを締め、お子様を拘束してください。



**警告** バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたこと、確実に固定されていることをご確認ください。



**注意** 肩ベルトにねじれができないように、また指を挟まないよう十分注意してください。

タングの接合部に強い曲げ力を加えると破損するおそれがあります。

バックル(タングの差し込み口)に飲み物や食べかす等が入らないように注意してください。



**注意** 肩ベルト調節ストラップを上に引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損する場合があります。



**補足** 肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

## お子様の降ろし方

肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます。

バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。

お子様の腕が肩ベルトに引っかかるないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。



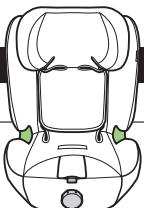
動画

## ジュニアシートモード

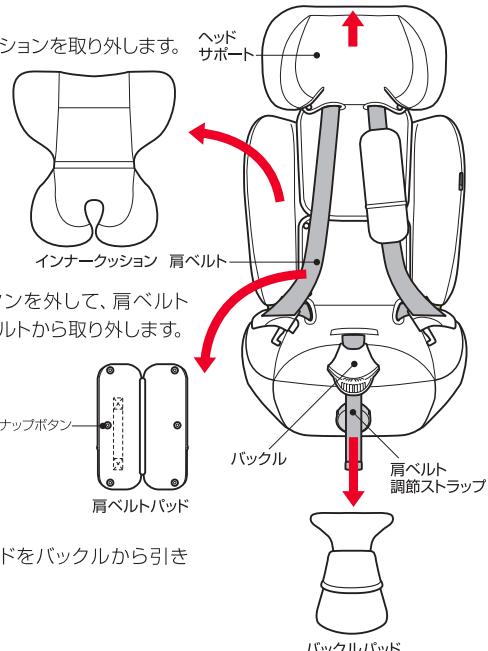
### 取り付ける前に

インナークッション、パッド類を取り外します。

肩ベルトを緩め(P17参照)、タングをバックルから解除(P15参照)します。  
ヘッドサポートを引き上げます。  
(P18参照)



インナークッションを取り外します。



バックルパッドをバックルから引き抜きます。



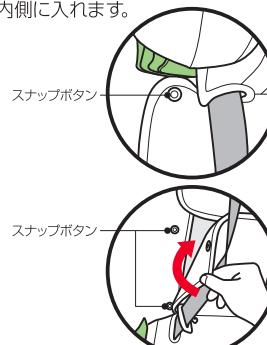
**注意** 肩ベルト調節ストラップは、本装置から引き抜かないで本体カバーに収納してください。



**補足** 取り外したインナーキュッシュン、肩ベルトパッド(左右)、バックルパッドをなくさないように、大切に保管してください。

### バックル・タング、トップテザーを収納します。

ヘッドサポートカバーのスナップボタンを外して、肩ベルトをカバーの内側に入れます。

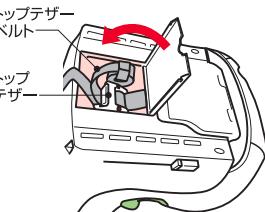
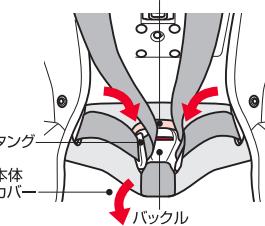
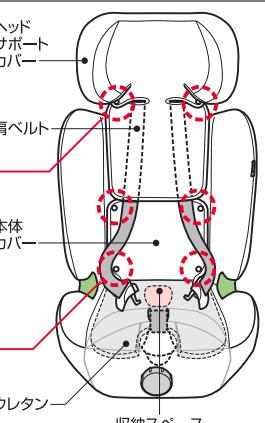


本体カバーのスナップボタンを外して、手前に引き出します。

本体の座面にある収納スペースに、バックルを入れてからタングを収納します。

本体カバーの内側に肩ベルトを入れ、本体カバーのスナップボタンで取り付けます。

トップテザーベルトを丸めて面ファスナーで固定し、トップテザーとトップテザーベルトを、座面の裏に収納します。





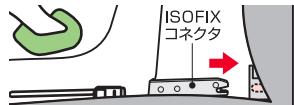
## ジュニアシートモード

### 本装置を車両に取り付ける

「ISOFIXコネクタを取り付ける(P20・P21)」を参照し、本装置を取り付けください。

※トップテザーは使用しません。

※ISOFIX取付金具の付いてない座席には、3点式シートベルトのみでも使用できます。



### お子様の乗せ方

1

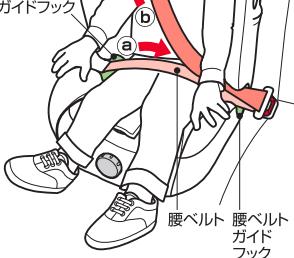
お子様を深く座らせ、ヘッドサポートの高さを調節してください。

肩ベルトガイドフックに車両の肩ベルトのねじれがないように、お子様の首に掛からないように注意して通します。



2

車両の腰ベルトがお子様の骨盤の低い位置にかかるように、左右の腰ベルトガイドフックに通し、タングとバックルをセットします。



3

車両の腰ベルトを引っ張り(Ⓐ)、車両の肩ベルトを巻き戻して(Ⓑ)シートベルトに緩みがないように、確実に装着してください。



**注意** お子様の手や腕を車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるようにしてください。

### お子様の降ろし方

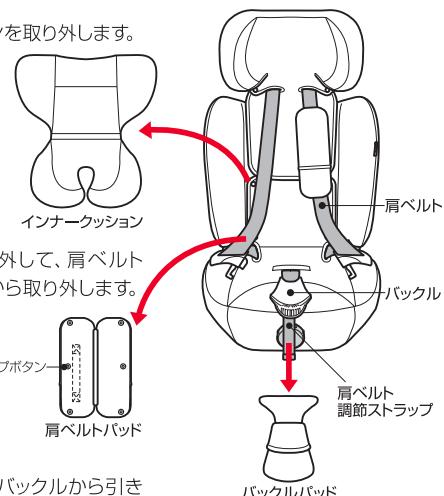
車両のバックルボタンを押してロックを解除し、お子様を降ろしてください。

## お手入れのしかた

### クッション、パッド、カバーの取り外し

肩ベルトを緩め(P17参照)、タングをバックルから解除(P15参照)します。

インナークッションを取り外します。

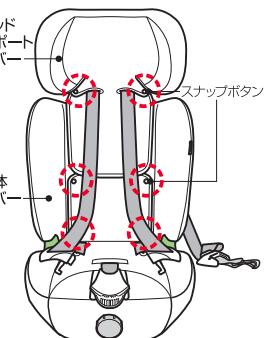


バックルパッドを、バックルから引き抜きます。

ヘッドサポートカバー・本体カバーは、スナップボタンを外して本体から取り外します。



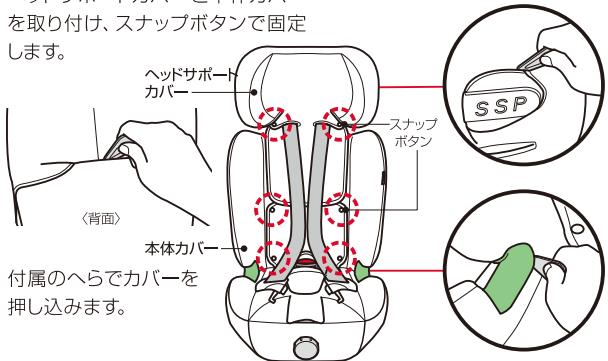
**注意** バックル・タング、トップテザー、ベルトやストラップ類は、本体から取り外さないでください。



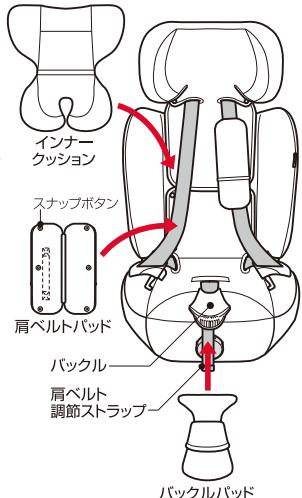
# お手入れのしかた

## クッション、パッド、カバーの取り付け

ヘッドサポートカバーと本体カバーを取り付け、スナップボタンで固定します。



インナークッションを取り付けます。



肩ベルトパッドを取り付け、スナップボタンで固定します。

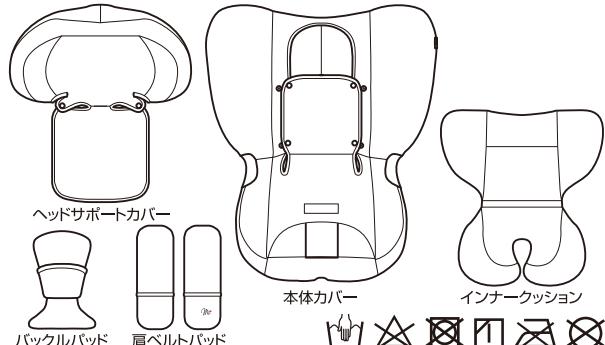
※スナップボタンが付いている方を、外側にしてください。

バックルパッドを、バックルに取り付けます。

バックルパッドを引き下げ、左右のタングを合わせ、バックルにセット(P15参照)します。

## カバー・パッド・クッション

- 中性洗剤を使い、押し洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- アイロン掛けは、しないでください。
- 脱水機・乾燥機等は使用せず、タオル等で水分を十分取り、風通しのよい日陰で干してください。



## 本体・ベルト等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭いてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



# 困ったときには



弊社HP「よくあるご質問 Q&A(QRコード)」をご覧ください。解決しない場合は、「お客様相談窓口」(0120-034-017)までお問い合わせください。

## ●チャイルドシートを取り付けたのですが、安定せずグラグラする。

- 本体を軽く前後に揺すってみて、本装置が前後に動かないか、ISOFIXのインジケーターが緑色になっているかを確認してください。  
※左右に動く場合は、使用上問題はありません。
- 車両の座席がリクライニングできる場合は、背もたれを前側に起こしたりすることで、しっかりと固定できる場合があります。

## ●肩ベルトが緩まない。

- 肩ベルトパッドと一緒に肩ベルトを引いた場合は、肩ベルトは緩みません。  
肩ベルトパッド下側の左右の肩ベルトのみを引っ張ってください。(P18)

## ●肩ベルトがねじれて、タングが逆向きになった。

- 肩ベルトを斜めに折って、折った端の方からタングを通してください。

## ●ヘッドサポートが上がらない。

- 肩ベルトを十分緩めてから操作してください。

## ●バックルにタングが入らない。

- バックル(タングの差し込み口)にゴミや水分等が入ったために、バックル解除ボタンが機能しない場合があります。ゴミや水分等を取り除いてもバックルにタングが入らない場合は、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

## ●子どもの服が厚いためか、身体が少しきつそう。

- 肩ベルトを緩めて調節してください。(P18)
- インナーカッシュンを取り外してください。
- 厚手の衣類は、しっかり装着することが難しくなりますので極力避けてください。装着した上から、ブランケットなどを掛けで防寒対策をしてください。

## ●バックルパッドやインナーカッシュンを新たに購入したい。

- 弊社HPからご購入、または「お客様相談窓口」までお問い合わせください。
- 後席の運転席側か助手席側か、どちらに取り付けた方がよいですか。
- 助手席の後部をお勧めします。信号などの停車時にお子様の様子を確認いただけたり、お子様の乗せ降ろしが歩道側ができるので、より安全です。

## ●廃棄したい。

- 住まいの各自治体の規定に従い廃棄してください。
- 本装置を落としたり強い衝撃を受けた場合、外見上の破損がなくても決して使用しないでください。

# 保証規定

①本製品の品質保証期間は、お買い上げになった日より1年間です。  
②保証期間内には、バーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といいたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。

③保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。

- フレームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。
- 天災地変や、事故などによる故障や損傷。
- 保証書および販売証明書のご提示がない場合。
- 一般家庭以外で、業務などに使用されて故障した場合。
- 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
- 保証書に製品名・お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合や、字句を書き換えられている場合。

④原則として、一度ご使用になった製品はお取り替えできません。また、バーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。

⑤製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。  
⑥事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。

⑦保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。

⑧ご贈答・ご移転で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。

⑨本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様(贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方)にのみ有効です。第三者から譲り受けた場合(リサイクルショップやネットオークション等含む)、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。

⑩この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後において不明な点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては修理をいたしかねことがあります。

※保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。

※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

# 保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちにご記入いただき、レシートまたは販売証明書(ご購入年月日・販売店がわかるもの)と一緒に大切に保管してください。

製品名	MC メイティ ハーネスジュニア	お買い上げ年月日		故障内容記入欄
		年	月	
お 客 様	お名前	TEL		保証期間 お買い上げ日より1年間
	ご住所			
販 売 店	店 名	TEL		お名前
	住 所			

●万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。

●ご提供いただいた個人情報は、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。

●本書は再発行しませんので、大切に保管してください。

※品質向上のため、予告なしに一部仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。